

## ピンク色の美しい花 － ミツバツツジ －

春から初夏にかけて陶史の森のあちこちにピンク色の美しい花が咲いています。花の名は「ミツバツツジ」。ツツジの仲間、やせた尾根や岩場、里山の雑木林などに生育する落葉低木です。花が咲き終わると枝先に3枚の葉が出ることから「ミツバツツジ」と呼ばれています。ピンク色の花を多く見かけますが、赤色や白色などもあります。

「ツツジ」の名は、花が筒状になっていることから付けられたといわれます。他にも花が連なって次々咲いていく様子から「続き」が語源となり、ツツジに変化していったともいわれます。日本ではツツジは古くから栽培され、人々の暮らしの近くにありました。花をつみ、花片の下から蜜を吸ったことがある人もいるのではないのでしょうか。(※)

日本にはツツジの仲間が90種類以上ありますが、ミツバツツジは近畿、東海、関東地方にしか分布していないようです。ミツバツツジの雄しべの数は5本ですが、陶史の森では雄しべの数が10本の「トウゴクミツバツツジ」や「コバノミツバツツジ」も見られます。雄しべの根元に細かい毛があるのがトウゴクミツバツツジ、毛がなく葉がやや小さめなのがコバノミツバツツジです。

暖かくなり、森では多くの植物が花を咲かせています。遊歩道を散歩しながら春色の景色をお楽しみください。

※ツツジは毒をもっている種類もあります。むやみに蜜を吸わないように気を付けてください。



ミツバツツジの花



遊歩道沿いのミツバツツジ

森	の
日	記

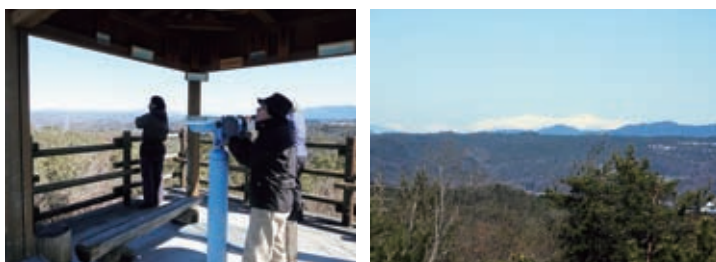
すばらしい 大パノラマ

3月3日(金)

教室のご案内

穏やかな晴天の日で、展望台では大パノラマが見られました。北の方角に雪をかぶった御嶽山、その東側には駒ヶ岳連峰、屏風山と恵那山の頂上が見えました。さらに北西方向に白山連峰、その西には伊吹山、南西方角の山陰に名古屋駅や名古屋市内の高層ビルを見ることができました。

展望台周辺の枝葉が伐採され、これまで以上の展望が開けています。ぜひお出掛けください。



展望台の様子と北西に見える白山連峰

4月

- バードウォッチング(要申込 定員10人)  
4月23日(日) 午前9時～11時  
(雨天中止)  
春の野鳥を観察します。陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

5月

- バードウォッチング(要申込 定員10人)  
5月28日(日) 午前9時～11時  
(雨天中止)  
初夏の野鳥を観察します。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。